

2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月10日

上場会社名 株式会社ティムコ 上場取引所 東
コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 酒井 誠一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 荻原 浩二 TEL 03-5600-0122
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年11月期第3四半期の業績（2023年12月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	2,414	△6.6	△47	—	△38	—	△62	—
2023年11月期第3四半期	2,584	5.2	112	43.7	114	33.7	106	39.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	△25.13	—
2023年11月期第3四半期	42.86	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期第3四半期	5,391	4,577	84.9	1,848.47
2023年11月期	5,752	4,670	81.2	1,886.02

（参考）自己資本 2024年11月期第3四半期 4,577百万円 2023年11月期 4,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	17.50	17.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年11月期（予想）の期末配当の内訳 普通配当12円00銭 記念配当5円50銭（第55期記念配当）

3. 2024年11月期の業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,284	△3.5	3	△97.4	13	△89.1	△20	—	△8.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期3Q	3,339,995株	2023年11月期	3,339,995株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	863,481株	2023年11月期	863,481株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期3Q	2,476,514株	2023年11月期3Q	2,476,514株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績見通し等に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自2023年12月1日 至2024年8月31日)における日本経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により緩やかな回復基調にあるものの、原材料及びエネルギー価格の高騰や円安進行など、物価上昇の継続による消費者マインドの改善に足踏みもみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の関わるアウトドア関連産業のうち、釣用品市場では、コロナ禍における需要からの反動減による在庫調整局面が依然として続いており、猛暑や水害、地震などによる天候要因も加わって一段と厳しい市況となりました。

また、アウトドア衣料品市場は、記録的な暖冬による防寒衣料の販売が低迷した一方、春夏物衣料の販売については概ね順調に推移いたしました。

このような状況の中、当社では収益確保に向けた商品の販売強化に取り組みましたが、当第3四半期の売上高は24億14百万円(前年同期比6.6%減)となりました。さらに、仕入原価上昇による売上総利益率の低下も影響し、営業損失は47百万円(前年同期間 営業利益1億12百万円)、経常損失は38百万円(前年同期間 経常利益1億14百万円)となりました。また、繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額12百万円の発生などの影響により、四半期純損失は62百万円(前年同期間 四半期純利益1億6百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、円安や海外需要の回復等により輸出は堅調に推移したものの、国内では3密を避けられるアクティビティとして高まったコロナ期需要からの反動減により、在庫調整局面が続いています。また、観測史上最高となった昨年に並ぶ記録的な猛暑や各地で発生した水害、地震などによる釣行回数の減少などの影響を受け、市況は一層低調に推移いたしました。

ルアー用品についてはフィッシングロッド(釣竿)において売上を伸ばした商品があった一方、ルアー(擬似餌)やフライ用品など全般に販売が苦戦いたしました。

その結果、当第3四半期におけるフィッシング事業の売上高は、6億52百万円(前年同期比13.6%減)となり、仕入原価上昇等による売上総利益率の低下も影響し、セグメント利益(営業利益)は41百万円(前年同期比68.1%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、12月～2月の期初において記録的な暖冬による防寒衣料や防寒小物の販売が低迷いたしました。その一方で、防虫素材(スコロン)を使用した商品などを中心とした春夏物衣料の販売や、通信販売については概ね順調に推移いたしました。一部売れ筋商品の在庫切れなどにより期初の防寒衣料などの低迷を補うまでには至りませんでした。

その結果、当第3四半期におけるアウトドア事業の売上高は17億48百万円(前年同期比3.6%減)となり、仕入原価上昇による売上総利益率の低下や、人件費などの販売費及び一般管理費増加の影響を受け、セグメント利益(営業利益)は48百万円(前年同期比60.0%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期に関しては、賃貸面積の減少によりその他売上高は13百万円(前年同期比10.1%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は7百万円(前年同期比13.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ3億60百万円減少し53億91百万円となりました。

流動資産は、電子記録債権の増加52百万円や商品の増加1億13百万円などの一方で、現金及び預金の減少3億88百万円や受取手形及び売掛金の減少1億49百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3億76百万円減少し、34億92百万円となりました。

固定資産は、設備投資による有形固定資産の増加62百万円や無形固定資産の増加23百万円などの一方で、減価償却56百万円や投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産の減少11百万円などの影響により、前事業年度末に比べ15百万円増加し、18億98百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ2億67百万円減少し8億13百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金の増加12百万円などの一方で、支払手形及び買掛金の減少1億99百万円や未払法人税等の減少26百万円、その他に含まれる未払金の減少14百万円や未払費用の減少20百万円、未払消費税等の減少20百万円、返金負債の減少14百万円などの影響により、前事業年度末に比べ2億77百万円減少し、5億68百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加10百万円などの影響により、前事業年度末に比べ9百万円増加し2億44百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ92百万円減少し、45億77百万円となりました。これは主に、四半期純損失62百万円の発生や前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年10月7日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,862,064	1,473,567
受取手形及び売掛金	505,712	356,047
電子記録債権	65,247	117,494
商品	1,347,871	1,461,504
その他	88,132	84,265
貸倒引当金	△114	△47
流動資産合計	3,868,914	3,492,832
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	454,949	465,872
土地	653,376	653,376
その他(純額)	13,841	12,666
有形固定資産合計	1,122,167	1,131,915
無形固定資産		
	18,048	36,780
投資その他の資産		
投資有価証券	598,865	597,367
その他	144,015	132,181
投資その他の資産合計	742,880	729,549
固定資産合計	1,883,096	1,898,245
資産合計	5,752,011	5,391,078
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	575,349	376,165
未払法人税等	35,233	8,344
賞与引当金	2,080	14,356
その他	233,376	169,516
流動負債合計	846,040	568,382
固定負債		
退職給付引当金	172,296	182,703
その他	62,925	62,236
固定負債合計	235,222	244,940
負債合計	1,081,262	813,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,834,701	3,834,701
利益剰余金	234,895	142,940
自己株式	△478,060	△478,060
株主資本合計	4,671,535	4,579,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△786	△1,826
評価・換算差額等合計	△786	△1,826
純資産合計	4,670,748	4,577,755
負債純資産合計	5,752,011	5,391,078

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年12月1日 至2023年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年12月1日 至2024年8月31日)
売上高	2,584,869	2,414,819
売上原価	1,352,174	1,307,599
売上総利益	1,232,694	1,107,219
販売費及び一般管理費	1,120,042	1,155,155
営業利益又は営業損失(△)	112,652	△47,935
営業外収益		
受取利息	2,014	2,966
受取配当金	1,248	—
為替差益	—	6,688
その他	589	267
営業外収益合計	3,851	9,922
営業外費用		
為替差損	1,871	—
その他	251	274
営業外費用合計	2,122	274
経常利益又は経常損失(△)	114,381	△38,287
特別利益		
投資有価証券売却益	20,932	—
固定資産売却益	296	77
特別利益合計	21,228	77
特別損失		
固定資産除却損	48	624
特別損失合計	48	624
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	135,561	△38,834
法人税、住民税及び事業税	28,744	11,386
法人税等調整額	673	12,014
法人税等合計	29,418	23,401
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106,142	△62,236

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	755,600	1,814,345	2,569,945	14,923	—	2,584,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	755,600	1,814,345	2,569,945	14,923	—	2,584,869
セグメント利益	128,817	120,495	249,313	8,685	△145,346	112,652

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益の調整額△145,346千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	652,786	1,748,623	2,401,409	13,409	—	2,414,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	652,786	1,748,623	2,401,409	13,409	—	2,414,819
セグメント利益	41,107	48,218	89,326	7,506	△144,769	△47,935

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
 2 セグメント利益の調整額△144,769千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	49,349千円	56,415千円